

「コラム」アンケートについて

コラムについて、感想とご要望を兼ねてアンケートを行いました。（回答7通）

1. 今年度の内容について

何か印象に残ったものがあれば、○印を付けてください。（複数回答）

- 第1回 「子育ての夢と現実」…………… 2票
- 第2回 「お父さんの関わり方」…………… 4票
- 第3回 「お襁褓の考え方」…………… 2票
- 第4回 「子どもと旅する」…………… 7票
- 第5回 「分離不安」…………… 4票
- 第6回 「食育」のさわり…………… 2票
- 第7回 「いつまで乗せます？ベビーカー」…… 3票
- 第8回 「スキンシップ・声かけ・笑顔」…………… 2票

もっと詳しく取り上げて欲しかったテーマが上記にありましたら、お書き下さい。

（自由筆記・要約）

- ・分離不安
- ・お父さんの関わり方
- ・第8回に関連して、「分離不安の大きい子」とそうでない子の、行動面での違いについて
- ・第4回に関連して、偶々テレビを見たので興味深く読みました
- ・園が力を入れている体操や特別保育について方針や思いを聞きたかった
- ・第2回に関連して、父親の経験談は身近に感じられてよかった
- ・本をよむより実践的で、文章も1枚ですぐ読めた。

2. 今後取り上げて欲しいテーマなど（要約）

- ・兄弟のあり方、見守り方
- ・父親の目から見た育児など、男性の視点を取り入れて欲しい。お母さん同士の関わりについて、もっと早い時期からコミュニケーションがとれる機会がほしかった。
- ・物事の切り替えが出来ない場合の対応
- ・寝付きが悪いことへの対応
- ・しつけの際、親がどの程度まで怒って良いのか
- ・子どもが幼稚園に上がるにあたっての母親の心得、準備
- ・入園前に他のお母さんと関わることができ、入園が待ち遠しい
- ・お母さん方のお喋りが多く、子どもの環境として良くない時があった（2）

3. 筆者の考察

本年度、初めての試みとして「コラム」を発行した。昨年度は「オムツ」「ベビーカー」「体操について」だったが、教育的というより育児的視点、また副園長の男性としての、父親としての、少し先輩親としての経験から何か感じ取って貰えれば…というのが初期の目的であった。

現代ではいわゆる「育児情報」は溢れているゆえ、経験を絡ませることによって、他では得られない内容にすることに留意した。また、その事が様々な語られ方をしている「育児のキモ」の整理の一端に役立つのではないかと考えた(1)。

実際のテーマ設定では、たんぽぽぐみ担任とも話し合い、ある程度母子の状態に沿ったものとする事を心がけた(5)(8)。また、食育(6)については園全体での取り組みの端緒に付いた時期だったので、たんぽぽぐみでも共通として話題に出した。

「何が印象に残りましたか」は、大抵古いものほど忘れられていると思われるが、一番「印象的だった」のは「子どもと旅する」(4)であった。テレビというメディアとの絡みもあり、多元的に知られた方も多かったのだろうと思う。ただ、番組内では語りきれなかった部分も載せており、相乗的に印象が強まったのではないと思う。

「父親としての関わり」は、生活に密着していない部分も大きく、母親のそれより考えあぐねてしまう事が多いのではないかと予想された。実際そのようなコメントも寄せられているので、確実にニーズがあるのだろうと思われる(2)。なお、私自身の「幼稚園の副園長&坊さん」というのは、一般的「社会人」とは大分異なった仕事という印象を持たれがちだが、実際には「予定の立ちにくい、決まった休みもない」職種である(4)。ただ、子どもの成長には「1回は短時間でも、繰り返し接する」のが王道である。何かフォローできないものだろうか。

在園への勧誘めいた文書を作るか否かについては悩んだが、極力薄めた上で「分かって下さる方にはどうぞ」というスタンスにしてみた。しかし今後はもっと明確に、幼稚園の特色を打ち出していこうと考えている。

アンケートの問いに「お母さんどうしの関わり」の文言を載せたのは、「このコラムをネタに会話が進むことも期待して」であるが、それがどの程度達成できたかは不明である。しかし、この問題については色々な場面で考えていく必要がある。あまりにも考え方がかけ離れた人同士では、うまくやっていくのが困難だからだ。また、幼稚園の考え方や個々人の考え方にしても。お母さん同士、また園と保護者との距離感というのは、きっと永遠のテーマであるのだろう。

以上、バラバラな視点ではあるが、お答えいただいたアンケートから考察を行ってみた。本来は自然と何でも話せばよいのだろうが、このような形として記録に残すことにする。